

# Press Release



あなたの力がこどもの未来をつくる  
東京に必要な保育者は東京で育てる

2026年1月30日

東京に必要な保育者は東京で育てる  
「東京都保育士養成連絡協議会」設立のお知らせ  
～保育士の養成・確保・定着のための新たなスキームを検討していきます～

この度、東京都に所在する指定保育士養成施設(大学、短期大学、専門学校及び各種学校。以下「養成施設」)の有志により、任意団体「東京都保育士養成連絡協議会」を設立し、設立総会を2026年2月16日(月)に開催することとなりましたので、お知らせします。

## 1. 概要

当協議会は、東京都における保育士の養成・確保・定着を推進するため、養成施設・行政・保育現場が連携・協働して取り組むプラットフォームとして、養成施設の有志により、2025年12月に設立しました。今後は、養成施設同士の連携・協働はもとより、行政や保育現場との連携・協働を一層強化し、東京都における保育士の養成・確保・定着に資する新たなスキームを検討してまいります。

設立総会の概要は次のとおりです。

日時 / 2026年2月16日(月) 12時30分～15時30分(予定)

場所 / アルカディア市ヶ谷(私学会館) 6階 阿蘇東、伊吹西  
東京都千代田区九段北4-2-25

対象 / 当協議会の会員(東京都所在の指定保育士養成施設)

内容 / 第1部:会長挨拶及び来賓紹介、第2部:議事

※ 12時00分から「伊吹西」にて記者会見を行います。

※ 第1部のみ、報道機関による頭撮りが可能です。なお、撮影終了後は、速やかにご退出ください。よろしくお願いいたします。

## 2. 設立の理由

東京都では、多様な保育サービスの整備や保育士の確保のための取組の推進によって待機児童数は減少していますが、共働き世帯の増加や女性就業率の上昇、幼児教育・保育料の無償化や多子世帯に対する保育料の負担軽減などの取組等により、保育サービスの利用率は年々増加しています(図1)。このような保育サービスの需要増加に対応していくために、その担い手である保育士の安定した確保が求められています。

また、保育士資格を取得するためには、「養成施設を卒業する」または「保育士試験に合格する」という2つのルートがあり、東京都では保育士有資格者のうち約60%を養成施設の卒業者が占めています(図2)。

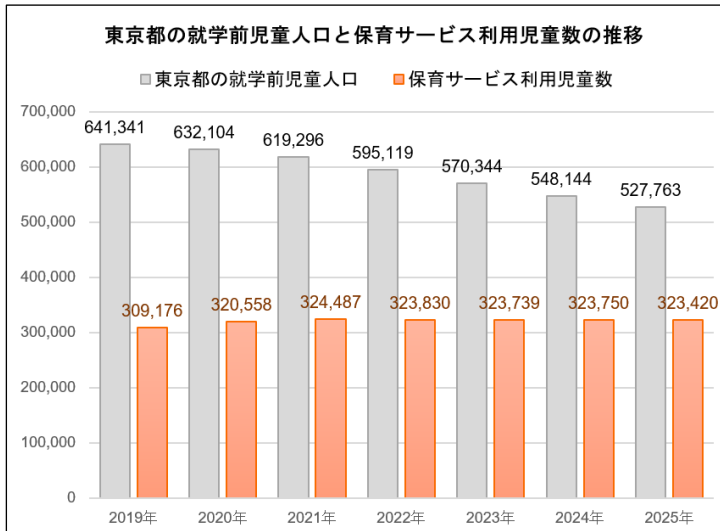


図1:東京都の就学前児童人口と保育サービス利用児童数の推移  
(出所:東京都『都内の保育サービスの状況について』を基に当協議会で作成)

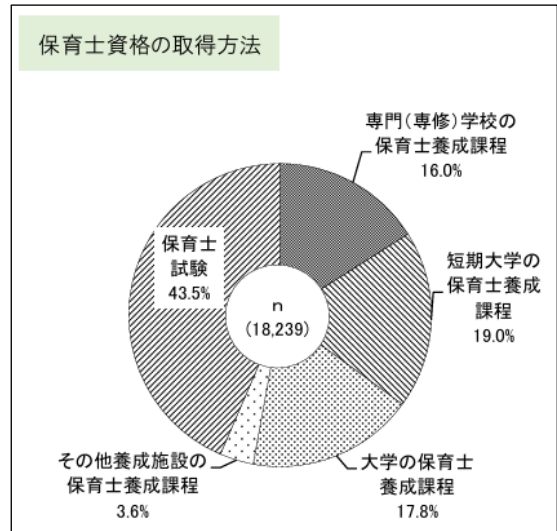


図2:東京都の保育士有資格者の資格取得方法  
(出所:令和4年度東京都保育士実態調査報告書)

しかしながら、近年は養成施設の数と入学定員(1学年あたりの定員)が急激に減少している現状があります。東京都によると、養成施設数のピークは2019年度の89施設、入学定員は7,775人でした。しかしながら、その後の7年間で養成施設数・入学定員ともに大きく減少し、2025年度の養成施設数は80施設(約10%減)、入学定員は5,967人(約23%減)となっています(図3)。実際の学生数は定員よりさらに少なく、また、既に募集停止を予定している養成施設も複数あることから、今後も養成施設の学生数の減少がさらに加速することが予想され、ひいては東京都の保育サービスの推進にも影響を及ぼしかねません。

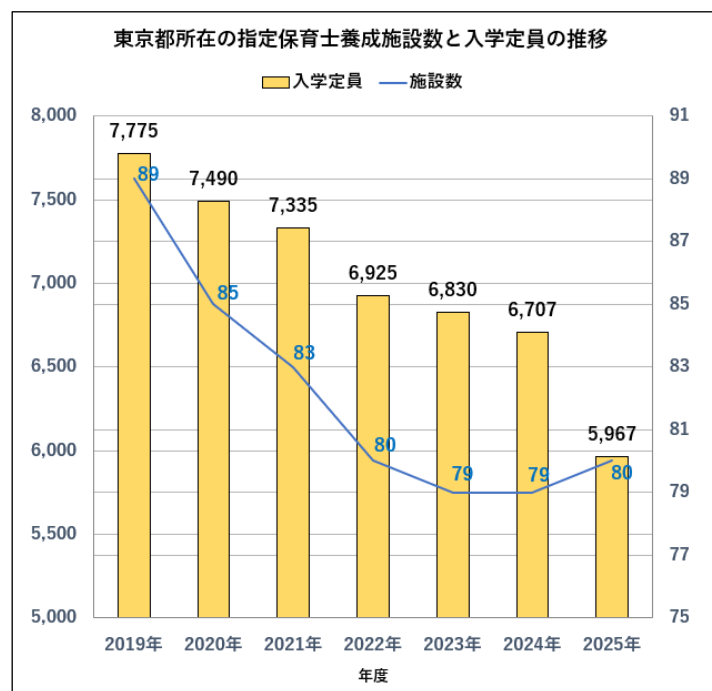


図3:東京都所在の指定保育士養成施設数と入学定員の推移  
(出所:東京都のデータをもとに当協議会で作成)




「地方の保育士が東京に流れている」と言われていますが、その背景には、東京は全国でも保育需要が高い上、地方に比べて給与水準が高いことなどがあると思われます。しかしながらその一方には、東京の養成施設を卒業し、東京の保育現場に就職する学生数が減少しているために、「東京の保育士を東京で育てきれていない」という現状があります。また養成施設数と学生数の減少は東京だけに限らず全国的な問題です。このままの状況が続くと、東京も含め全国で保育士不足がより一層深刻化することが予想されます。そのため、東京の保育士を東京で養成・確保し、その定着を図ることは、東京だけの問題ではなく、全国的にも喫緊の課題であると考えています。

以上のような背景をふまえて、東京都の養成施設・行政・保育現場のすべてのアクターにとって有意義なものとなる新たなスキームを検討するため、そのプラットフォームとして当協議会を設立しました。

### 3. 当協議会のロゴマークについて



- ・ 中央の黄色いモチーフは、未来の保育士や子どもたちを象徴しています。
- ・ 青と緑のモチーフは、保育士養成と保育現場のサポートという、専門的な育成の「手」を表します。

-  誠実・専門性・信頼(教育機関としての知性と、確かな土台)
-  成長・生命力・育成(保育士として芽吹く人材と、豊かな環境)
-  未来・希望・温もり(子どもたちの笑顔と、明るい未来への展望)

### 4. お問い合わせ先

東京都保育士養成連絡協議会 事務局(フェリシアこども短期大学内)

担当:学長 百瀬志麻

電話:044-988-1128(代表)

メール:tokyo.hoikushiyousei@gmail.com